

浜の活力再生広域プラン
令和8～12年度
(第3期)

1 広域水産業再生委員会

組織名	指宿広域水産業再生委員会
代表者名	鮫島 祐蔵（山川町漁業協同組合 代表理事組合長）

広域委員会の 構成員	指宿地域水産業再生委員会（山川町漁業協同組合、指宿漁業協同組合、山川水産加工業協同組合、指宿市、鹿児島県南薩地域振興局） 鹿児島県漁業協同組合連合会
オブザーバー	—

対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類	鹿児島県指宿市（山川町漁協及び指宿漁協の管内） 指宿地区 （一本釣り漁業：15名、刺網漁業：10名、定置網漁業：3名、養殖業：2名） 岩本地区 （一本釣り漁業：25名、瀬物一本釣り漁業：1名、旗流し漁業：1名、刺網漁業：11名、たこ籠漁業：21名、底曳網漁業：2名、養殖業：1名） 山川地区 （一本釣り漁業：33名、刺網漁業：7名、まき網漁業：1名、定置網漁業：1名、養殖業：2名） ※各漁業経営数：令和6年度末現在 出典元：各漁協からの聞き取り
---------------------------	--

2 地域の現状

(1) 地域の水産業を取り巻く現状等

1. 地域の概況

指宿市は、薩摩半島の最南端、鹿児島湾口に位置する。砂むし温泉を始めとした温泉や薩摩富士と言われる開聞岳、干潮時には歩いて渡れる知林ヶ島などを有し、県を代表する観光地となっており、オクラ、ソラマメの生産量が全国1位を誇るなど農業も盛んな地域である。市内には5つの漁港と4つの港湾があり、第3種漁港の山川漁港ではかつお節の原料となるかつおの水揚げが盛んに行われており、山川地区は全国の約3割のかつお節が生産されている。また第2種漁港の今和泉漁港は、かつては、遠くは尖閣諸島付近の海域で操業する瀬物一本釣り漁船の基地であったが、現在、瀬物一本釣り漁船は1隻のみとなっている。

2. 漁業の概要

沿岸・沖合漁業は今和泉漁港、指宿港、山川漁港、児ヶ水漁港、川尻漁港、脇浦漁港において、一本釣り漁業、刺網漁業、タコかご漁業などの沿岸・沖合漁業が行われているほか、定置網漁業も行われている。海面養殖業は、指宿沖と山川湾内においてブリ・カンパチなどの魚類養殖のほか、岩本地区におけるヒトエグサ養殖が行われている。

3. 漁業生産の概要

指宿漁業協同組合は、組合員140人、漁船141隻を有し、大部分の組合員が沿岸漁業に従事している。組合員の中には尖閣諸島周辺海域での瀬物一本釣りや、枕崎沖合でのヒゲナガエビを対象にした底曳網漁業に従事している者もいる。近年は、高齢化の進行や後継者不足、燃油の高騰などにより厳しい経営状況が続いている。組合員は、今和泉漁港、指宿港を拠点に水揚げを行い、令和6年度の水揚量は約1,062t、水揚高は約7億9,625万円となっている。

山川町漁業協同組合は、組合員85人、漁船59隻を有している。第3種漁港である山川漁港では、海外まき網船や近海かつお一本釣り船などによるかつお節の原料となるかつおの水揚げが行われている。組合員は一本釣り、建網漁業、定置網漁業といった沿岸漁業が主となっている。また、湾内ではカンパチ、ブリなどの海面養殖業も行われ、「いぶすき菜の花カンパチ」はかごしまのさかなブランド認定魚に認定されている。沿岸漁業においては、魚価の低迷、水産資源の減少、燃油の高騰、後継者不足などにより大変厳しい状況が続いている。本組合の水揚の大半は海外まき網が占めており、令和4年度にはカツオ等の高鮮度保持のため新たに冷蔵庫を整備した。令和6年度の水揚量は約44,424t、水揚高は約110億1,092万円となっている。

山川水産加工業協同組合の加工業者数は22業者で年間約6千トンのかつお節を製造しているが、年々、原料かつおの価格高騰などもあり確保が難しくなっており、山川町漁業協同組合と連携し、山川漁港での安定的な水揚げの確保を図る必要がある。本市のかつお節の生産量は、全国の約3割を占め、枕崎・焼津と合わせて日本の三大産地となっている。中でも、かつお節の最高級といわれる本枯本節は全国の約7割を占め、令和7年3月には指宿鰹節が地理的表示(GI)として登録されている。

4. 地域の水産業における問題と今後の対策

全国的な傾向として、指宿市においても水産物需要の減少による魚価の低迷や、水産物資源状態の悪化による漁獲量の減少、漁業経営悪化による漁業者数の減少などの問題に直面している。

これらの状況を打破するために、第一期プランで取り組んだ市場統合を更に活用して、消費地市場への転送や地元量販店等への出荷などの新たな流通体制の構築を図るとともに、新たな加工品開発やイベント時における鮮魚販売等による消費拡大の取組による魚価向上対策に取り組む必要がある。また引き続き、効果的・効率的な種苗放流・藻場造成などの技術確立によるつくり育てる漁業の取り組みや、アサリ、マガキの二枚貝養殖の取組推進、広域的な資源管理型漁業の推進による資源回復、漁船漁業、養殖業におけるスマート水産業の推進、漁業士や青壮年部・女性部活動の支援、行政の各種担い手確保育成に係る事業の活用による漁業後継者の確保育成対策に取り組んでいく必要がある。

また指宿市は観光地として観光交流人口の増加のための取組が盛んに行われているが、令和2年の新型コロナウイルスの影響は市内のホテル業界にも大きなダメージを与え、水産物需要が大幅に減少した。山川町漁協、指宿漁協や山川水産加工組合と連携して行ってきたブルーツーリズムの取組においても、漁業体験参加者数が大きく落ち込んだ。現在は、指宿市においても、観光交流人口は回復しており、水産物需要の増加や漁業者の所得向上、地域活性化を目指し、ブルーツーリズムの取組をさらに活性化させるとともに、地域の観光資源を活用し、インバウンドを含めた集客力の向上を図っていく必要がある。

山川町漁協は、令和6年3月に海業の推進に取り組む地区として公表され、漁業体験の取組を開始したほか、施設整備を行い、今後も海業の推進に取り組む予定である。

また近年は、指宿地域において、冬期に定置網等によるクロマグロの混獲が散見される場所である。漁業法に基づいて設定されている我が国のクロマグロ漁獲上限を遵守するためには、クロマグロの混獲回避が必要となっている。

(2) その他の関連する現状等

指宿市は、平成18年1月1日に旧指宿市・山川町・開聞町の1市2町が合併し誕生した。合併当初（平成17年度）は46,580人だった人口は令和元年度39,274人、現在（令和6年度）で36,490人と減少が続いている。

指宿市は温泉の湧出量の豊富なことが全国的に知られ、特に世界的にも珍しい天然砂むし温泉を有することから全国から観光客が訪れている。加えて、国のインバウンドの受入拡充の政策に合わせ、鹿児島県では現在台湾、上海、韓国からの直行便が就航し、指宿市においても外国人宿泊数は増加傾向にあった。平成30年には入込観光客数は過去最高となる3,977千人となったが、令和元年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響を受けて観光業界は大打撃を受け、令和3年度は2,192千人まで減少したが、令和5年度は3,457千人となり回復基調にある。

また、新春には日本最大級の市民マラソンをはじめとするスポーツイベントの開催や、サッカーや野球等のキャンプ地としても、令和2年度にサッカー場の新設など施設の改善に取り組み、より充実した受入態勢を整えている。これらの観光客等を対象とした地産地消活動の他、鯉節工場見学や魚釣り体験、遊漁船クルージング等アウトドアコンテンツの拡充等を進めている。

3 競争力強化の取組方針

(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

1. 魚価向上及び消費拡大の取組強化

指宿漁協及び山川町漁協の沿岸漁業の漁獲物を通常の鮮魚出荷だけでなく、活魚出荷や冷凍出荷など魚種の特性や販売先のニーズに合わせた出荷方法を検討し、流通体制の再編を図る。

また、共同出荷については、鹿児島市中央卸売市場において高値で取引される魚種や漁獲量が地域の需要を大きく越える魚種は同市場へ優先的に出荷する。それ以外の魚種については、山川町漁協が加工場や直売所等を整備することから、新たな加工品の開発に取り組むほか、整備した施設へ出荷し、市場以外への出荷による魚価の向上や付加価値向上を図る。

漁獲物や加工品の安定した販売を目的として、指宿漁協と山川町漁協で連携して、地域イベントへの積極的な参加、開催に努めることにより鰹節を含めた地域全体の魚食普及及び認知度向上を図り、販路拡大を目指す。

鰹節製造時の排水処理施設について、老朽化がみられていることから新たに整備し、従来どおり環境負荷の少ない鰹節を製造する。

流通機能向上のための施設整備については、海業の推進状況に応じて広域的な活用法を検討しながら必要な施設を順次整備する。

2. 資源管理，操業効率化等による体質強化

漁業者による資源管理協定を作成している魚種・漁法について、操業日数の制限など自主的資源管理を継続的に実施し、資源管理に対する意識を高める。

水産動植物の生育の場としての水産資源の保護、沿岸域の環境保全に資する藻場造成は、効率的で効果の高い手法を検討したうえで継続的に実施することで地域全体の資源の回復・維持を図る。従来から実施しているマダイ等の放流事業については、水産技術開発センターと連携し放流効果の向上に努めるとともに、藻場造成の取組との連携による、より効果的な放流手法、放流場所を検討・選択する。ヒラメについては、漁獲量の減少など近年の海水温上昇による影響が考えられることから、高水温に対応可能かつ入手可能な魚種の放流を検討・選択する。

指宿・山川地区で営まれている漁船漁業及び養殖業について、スマート水産業の推進を図り、省力化やコスト削減等により水産業の持続的な発展を目指す。

新たに試験を開始したマガキやアサリ等の二枚貝養殖については、区画漁業権の免許後に販売先が確保できるよう、知名度向上を目的としてPR活動を行うほか、生産量拡大のため種苗の安定的確保に努める。特にマガキ出荷に当たっては自動選別機を活用し、サイズ別出荷の厳格化による品質及び価格向上を図る。

また、定置網におけるクロマグロの混獲が見られた際、混獲を回避するための取組を行うことにより、適切な資源管理を実施する。

3. 漁村活性化の取組

地域全体での海業のさらなる推進に向け、新たに地域水産物の普及施設や駐車場等の観光客受け入れのための周辺施設を整備する。既存施設を活用した上で、新たな施設で二枚貝養殖の生産物等の食事体験を実施するなど漁港を核とした観光プログラムを作成し、インバウンドも含めた地域の集客力の向上による漁村の活性化を図る。

山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合は、継続して指宿市と連携してPR活動等に努め、ブルーツーリズムの推進を図り、地域活性化を図る。また、ブルーツーリズムと観光業の連携により自然共生サイトなど地域の良好な環境を新たな観光資源として活かした観光プログラムを創出し、地域全体の交流人口の増大を目指す。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 地域の中核的担い手である漁業士や青年部などの販売促進等の活動について当再生委員会は、積極的に人的、経済的な支援を行うとともに、指導・助言を行うことにより、中核的担い手となる若手漁業者の確保育成に取り組んでいく。2. 国・県の経営体育成総合支援事業等による新規漁業就業者向けの短期・中期・長期の漁業研修のほか、技術習得のための先進地研修等について支援を行っていくとともに、山川地区において、かつお節製造技術者養成補助金等を活用し、かつお節製造業者の担い手の確保・育成に努める。3. 競争力強化型機器等導入緊急支援事業や効率的な操業体制の確立支援、水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業等を山川町漁協、指宿漁協で導入することにより、中核的担い手である漁業者の経営安定化を推進する。 |
|--|

(3) 資源管理に係る取組

<p>鹿児島県漁業調整規則では、全漁協を対象に漁具や漁法の制限に併せてイセエビ類、トコブシ、アサヒガニ等に対する禁漁期間や体長制限を設けて資源の保護培養を図っている。</p> <p>鹿児島県海区漁業調整委員会指示では、全漁協を対象にマダイ、ヒラメの体長制限を設けている。</p> <p>全漁協において WCPFC のクロマグロ資源管理目標に基づき漁獲制限に取り組んでいる。</p> <p>全漁協において漁業法による TAC 対象魚種の資源管理に取り組んでいる。</p> <p>指宿漁協は南西諸島海域マチ類広域資源管理方針に参画し、保護区及び保護期間を設定して、ハマダイ、アオダイ、ヒメダイ、オオヒメの保護を行っている。</p> <p>鹿児島県資源管理方針に従い、全漁協において8漁業種類（まぐろ延縄、瀬物一本釣り、旗流し、小型底曳網、ブリ飼付、定置網、ごち網、刺網）において資源管理協定を定め、自主的な資源管理措置の徹底に務めている。</p> <p>山川町漁協と指宿漁協においては毎年マダイとヒラメの種苗放流を実施するとともに産卵用のイカ柴やたこつぼの投入を計画的に行い、水産資源の維持・回復を図っている。</p> <p>山川町漁協と指宿漁協においては山川地区藻場保全会、指宿地区水産振興会が水産多面的機能発揮対策事業により母藻設置やウニ駆除等の藻場造成活動を行い、漁場の生産力向上を目指して取り組んでいる。</p>
--

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和8年度）

取組内容	<p>(機能再編・地域活性化に関する取組)</p> <p>1. 魚価向上及び消費拡大の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none">指宿漁協及び山川町漁協は、活魚出荷や冷凍出荷など魚種の特性や販売先のニーズを把握し、流通体制の再編に向け、出荷方法を検討する。山川町漁協は、既存の冷蔵施設を改修して加工場へ整備するとともに、地域水産物普及施設や漁業体験施設等の調査設計を開始する。山川町漁協、指宿市漁協、山川水産加工組合は、漁獲物や加工品の安定した販売を目的として、地域イベントへの積極的な参加や開催を通して、鰹節も含めた地域全体の地元水産物の魚食普及及び認知度向上を図り、販路拡大を目指す。山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合、指宿市は、地産地消を図るため、即売会を市内の物産館等で積極的に実施する。山川水産加工組合は、鰹節製造時の排水処理施設の老朽化がみられていることから整備について検討を開始する。共同出荷については、試験的な出荷に向けて鹿児島市中央卸売市場での魚種ごと取引価格を調査する。 <p>2. 資源管理、操業効率化等による体質強化</p> <ul style="list-style-type: none">山川町漁協、指宿漁協は、各地区で作成している資源管理協定のうち同一魚種・漁法については、意見交換の場を設け、広域的な資源管理に取り組み、資源回復を図り地域全体で安定的な漁獲を目指す。山川町漁協、指宿漁協は稚魚の成育場となる藻場について、食害魚による磯焼け対策も含めた藻場調査、藻場造成事業を実施する。また、藻場造成事業等について、情報を共有し、効率的で効果の高い手法を検討して継続的に実施していくことにより地域全体の資源の回復・維持を目指す。山川町漁協、指宿漁協は、従来から実施しているマダイ等の放流事業については、水産技術開発センターと連携し放流効果の向上に努めるとともに、より効果的な放流手法、放流場所として、藻場造成状況を踏まえて検討する。ヒラメについては、漁獲量の増減を把握し、減少が確認された際にはヒラメに代わる放流魚種の変更を検討するとともに、高水温に対応可能かつ入手可能な魚種について、漁業者のニーズを把握し、放流魚種の検討を開始する。山川町漁協、指宿漁協は、省力化やコスト削減等を目的として、漁船漁業の操業の効率化や、養殖業の給餌作業の効率化、赤潮被害防止のためのモニタリング等についてスマート水産業の推進を図り、導入可能な機器を検討する。
------	--

- ・ 山川町漁協はマガキ養殖の区画漁業権の免許を受け、稚貝3万個を導入して中間育成もしくは出荷サイズまでの養殖を開始するとともに、養殖漁場のモニタリングを実施する。
- ・ 生産したマガキについて、地域イベントへの積極的な参加、開催によりPR活動を実施して知名度向上を図る。
- ・ 山川町漁協は、マガキの生産量拡大のため種苗の安定的確保を図る必要があることから、引き続き種苗供給会社との協力体制を築くほか、種苗生産も視野に入れて種苗確保の方法を検討する。
- ・ 山川町漁協は、出荷先のニーズを把握し、ニーズに合った生産サイクルを検討するほか、製品サイズのマガキは自動選別機を活用してサイズ別出荷の厳格化による品質及び価格の向上を図る。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協は、定置網漁業の安定的操業を図るため、定置網においてクロマグロの入網が見られた際、定置網業者が混獲を回避するための取組を支援する。

3. 漁村活性化の取組

- ・ 山川町漁協は海業のさらなる推進に向け、施設整備や設計等を行うとともに、現在の計画の詳細な内容について関係者で協議する。
- ・ 山川町漁協は、既存施設についても生産物等の食事体験が可能になるよう受入れ体制を見直すとともに、インバウンドも含めた集客力の向上が漁業所得向上に繋がるような漁協を核とした観光プログラムを検討する。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合は、指宿市と連携してブルーツーリズムや観光プログラムのPR活動等に努め、ブルーツーリズムの体験メニューの充実を図り、関係する地域の活性化を図る。
- ・ 山川町漁協と指宿市は、ブルーツーリズムと観光業の連携を図り、自然共生サイトなど地域の良好な環境を新たな観光資源として活かした観光プログラムを検討する。

(中核的担い手の育成に関する取組)

4. 漁業者・加工業者の確保・育成

- ・ 山川町漁協、指宿漁協・水産加工組合及び指宿市は、地域の中核的担い手である青年部や漁業士、漁村活動の中心となる女性部の魚食普及や販売促進等の活動について積極的に人的、経済的な支援のほか、指導・助言を行っていく。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協、県は、国・県の新規漁業就業者総合支援事業等による新規漁業就業者向けの短期・中期・長期の漁業研修に加え、技術習得のための先進地研修等について支援を行うとともに、漁具導入時の支援を行い、新規漁業就業者の着業促進を図る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山川水産加工組合は、かつお節製造技術者養成補助金等を活用し、かつお節製造業者の担い手の確保・育成に努める。 ・ 当再生委員会は中核的漁業者の認定を進め、山川町漁協、指宿漁協は鹿児島県漁連の指導を受けながら中核的漁業者への水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業の導入を推進する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、競争力強化型機器等導入緊急対策事業の活用促進を図り、管内の漁業者に新たな機器等の整備を促すことで競争力の強化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）（国）【関連項目 1、2】 ・ 種子島周辺漁業対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 水産業競争力緊急対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロの混獲回避活動支援）（国）【関連項目 2】 ・ 漁港施設機能強化事業（国、県、市）【関連項目 1】 ・ つくり育て管理する漁業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 魚類増殖事業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国、県、市）【関連項目 2】 ・ 水産業強化支援事業（国）【関連項目 1、2】 ・ 海業推進事業（国）【関連項目 1、3】 ・ 経営体育成総合支援事業（国、県）【関連項目 4】 ・ かつお節製造技術者養成補助金（指宿市単独事業）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化金融支援事業（国）【関連項目 4】 ・ かごんま漁師育成推進事業（県）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）【関連項目 1】

<p>取組内容</p>	<p>(機能再編・地域活性化に関する取組)</p> <p>1. 魚価向上及び消費拡大の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指宿漁協及び山川町漁協は、前年度の検討結果をもとに活魚出荷や冷凍出荷など魚種の特長や販売先のニーズに合わせた出荷を実施し、流通体制の再編を図る。 ・ 山川町漁協は、既存の冷蔵施設を改修して加工場を整備して新たな加工品の開発に取り組むほか、加工場の改修にあわせて急速冷凍機等を整備する。地域水産物普及施設の整備を開始する。 ・ 山川町漁協、指宿市漁協、山川水産加工組合は、漁獲物や加工品の安定した販売を目的として、地域イベントへの積極的な参加や開催を通して、鯉節も含めた地元水産物の魚食普及及び認知度向上を図り、販路拡大を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合、指宿市は、地産地消を図るため、即売会を市内の物産館等で積極的に実施する。 ・ 山川水産加工組合は、鯉節製造時の排水処理施設の老朽化がみられていることから整備について計画を関係者で協議する。 ・ 共同出荷については、鹿児島市中央卸売市場での魚種ごとに取引価格の調査結果を踏まえて試験的に出荷を開始する。また、新たに整備された加工場へ出荷を開始する。 <p>2. 資源管理、操業効率化等による体質強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協は、各地区で作成している資源管理協定のうち同一魚種・漁法については、意見交換の場を設け、広域的な資源管理に取り組み、資源回復を図り安定的な漁獲を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は稚魚の成育場となる藻場について、食害魚による磯焼け対策も含めた藻場調査、藻場造成事業を実施する。また、藻場造成事業等について、情報を共有し、効率的で効果の高い手法を検討して継続的に実施していくことにより資源の回復・維持を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、従来から実施しているマダイ等の放流事業については、水産技術開発センターと連携し放流効果の向上に努めるとともに、より効果的な放流手法、放流場所として、藻場造成状況を踏まえて検討する。ヒラメについては、漁獲量の増減を把握し、減少が継続する際にはヒラメに代わる放流魚種の変更を検討するとともに、高水温に対応可能かつ入手可能な魚種について、漁業者のニーズを把握し、放流計画を関係者で協議する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、省力化やコスト削減等を目的として、漁船漁業の操業の効率化や、養殖業の給餌作業の効率化、赤潮被害防止のためのモニタリング等について、スマート水産業の推進を図り、導入可能な機器
-------------	--

を引き続き検討する。

- ・ 山川町漁協はマガキ養殖について生産規模を拡大し、稚貝 7 万個を導入して中間育成もしくは出荷サイズまでの養殖及び養殖漁場のモニタリングを実施する。
- ・ 生産したマガキについて、引き続き地域イベントへの積極的な参加、開催によりPR活動を実施して知名度向上を図る。
- ・ 山川町漁協は、マガキの生産量拡大のため種苗の安定的確保を図る必要があることから、引き続き種苗供給会社との協力体制を築くほか、種苗生産に必要な施設、機器の導入に向けた検討を開始するなど種苗確保の方法を検討する。
- ・ 山川町漁協は、出荷先のニーズを把握し、ニーズに合った生産サイクルを検討するほか、製品サイズのマガキは引き続き自動選別機を活用してサイズ別出荷の厳格化による品質及び価格の向上を図る。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協は、定置網漁業の安定的操業を図るため、定置網においてクロマグロの入網が見られた際、定置網業者が混獲を回避するための取組を支援する。

3. 漁村活性化の取組

- ・ 山川町漁協は、海業のさらなる推進に向け、地域水産物普及施設や駐車場等の観光客受け入れのための周辺施設の整備を開始する。
- ・ 山川町漁協は、既存施設についても生産物等の食事体験が可能になるよう受入れ体制を引き続き見直すとともに、インバウンドも含めた集客力の向上が漁業所得向上に繋がるような漁協を核とした観光プログラムを検討する。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合は、継続して指宿市と連携してブルーツーリズムや観光プログラムの PR 活動等に努め、ブルーツーリズムの体験メニューの充実を図り、関係する地域の活性化を図る。
- ・ 山川町漁協と指宿市は、地域の良好な環境を新たな観光資源を活かした観光プログラムを作成し、参加者や旅行代理店にアンケートを実施する。

(中核的担い手の育成に関する取組)

4. 漁業者・加工業者の確保・育成

- ・ 山川町漁協、指宿漁協・水産加工組合及び指宿市は、地域の中核的担い手である青年部や漁業士、漁村活動の中心となる女性部の魚食普及や販売促進等の活動について積極的に人的、経済的な支援のほか、指導・助言を行っていく。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協、県は、国・県の新規漁業就業者総合支援事業等による新規漁業就業者向けの短期・中期・長期の漁業研修に加え、技術習

	<p>得のための先進地視察等について支援を行うとともに、漁具導入時の支援を行い、新規漁業就業者の着業促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川水産加工組合は、かつお節製造技術者養成補助金等を活用し、かつお節製造業者の担い手の確保・育成に努める。 ・ 当再生委員会は中核的漁業者の認定を進め、山川町漁協、指宿漁協は鹿児島県漁連の指導を受けながら中核的漁業者への水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業の導入を推進する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、競争力強化型機器等導入緊急対策事業の活用促進を図り、管内の漁業者に新たな機器等の整備を促すことで競争力の強化を図る。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）（国）【関連項目 1、2】 ・ 種子島周辺漁業対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 水産業競争力緊急対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロの混獲回避活動支援）（国）【関連項目 2】 ・ 漁港施設機能強化事業（国、県、市）【関連項目 1】 ・ つくり育て管理する漁業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 魚類増殖事業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国、県、市）【関連項目 2】 ・ 水産業強化支援事業（国）【関連項目 1、2】 ・ 海業推進事業（国）【関連項目 1、3】 ・ 経営体育成総合支援事業（国、県）【関連項目 4】 ・ かつお節製造技術者養成補助金（指宿市単独事業）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化金融支援事業（国）【関連項目 4】 ・ かごんま漁師育成推進事業（県）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）【関連項目 1】

<p>取組内容</p>	<p>(機能再編・地域活性化に関する取組)</p> <p>1. 流通体制の機能再編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指宿漁協及び山川町漁協は、前年度の検討結果をもとに活魚出荷や冷凍出荷など魚種の特長や販売先のニーズに合わせた出荷を実施し、流通体制の再編を図る。 ・ 山川町漁協は、前年度に改修により整備した加工場及び急速冷凍機等を活用して新たな加工品の開発に取り組む。 ・ 山川町漁協は、前年度に改修により整備した地域水産物普及施設をオープンし、加工場で開発した加工品の販売のほか、漁獲物の販売、食事の提供を実施する。 ・ 山川町漁協は、漁獲物を地域水産物普及施設での販売及び食事、加工品の原料へ回すなど、出荷など市場以外の出荷により魚価の向上や付加価値向上を図る。 ・ 山川町漁協、指宿市漁協、山川水産加工組合は、漁獲物や加工品の安定した販売を目的として、地域イベントへの積極的な参加や開催を通して、鯉節も含めた地元水産物の魚食普及及び認知度向上を図り、販路拡大を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合、指宿市は、地産地消を図るため、即売会を市内の物産館等で積極的に実施する。 ・ 山川町漁協は、山川地区のかつお節工場へ高鮮度の原料を提供するため、フォークリフト等を整備する。 ・ 山川水産加工組合は、鯉節製造時の排水処理施設の老朽化がみられていることから整備について計画を策定する。 ・ 共同出荷については、鹿児島市中央卸売市場での魚種ごと取引価格の調査結果を踏まえて試験的に出荷を開始する。また、加工場へ出荷を継続しつつ、新たに整備された地域水産物普及施設へ出荷を開始する。 ・ 流通機能向上のための施設整備については、海業の推進状況及び新たに整備した地域水産物普及施設の稼働状況を勘案し、必要な施設整備を検討する。 <p>2. 資源管理、操業効率化等による体質強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協は、各地区で作成している資源管理協定のうち同一魚種・漁法については、意見交換の場を設け、広域的な資源管理に取り組む、資源回復を図り安定的な漁獲を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は稚魚の成育場となる藻場について、食害魚による磯焼け対策も含めた藻場調査、藻場造成事業を実施する。また、藻場造成事業等について、情報を共有し、効率的で効果の高い手法を検討して継
-------------	---

続的に実施していくことにより資源の回復・維持を目指す。

- ・ 山川町漁協、指宿漁協は、従来から実施しているマダイ等の放流事業については、水産技術開発センターと連携し放流効果の向上に努めるとともに、より効果的な放流手法、放流場所として、藻場造成状況を踏まえて検討する。ヒラメについては、漁獲量の増減を把握し、減少が継続する際にはヒラメに代わる放流魚種の変更に向け、高水温に対応可能かつ入手可能な魚種について、漁業者のニーズに合わせた放流魚種の放流計画を策定する。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協は、省力化やコスト削減等を目的として、漁船漁業の操業の効率化や、養殖業の給餌作業の効率化、赤潮被害防止のためのモニタリング等について、スマート水産業の推進を図り、導入可能な機器を引き続き検討する。
- ・ 山川町漁協はマガキ養殖について生産規模を拡大し、稚貝10万個を導入して中間育成もしくは出荷サイズまでの養殖を開始し、養殖漁場のモニタリングを実施する。
- ・ 生産したマガキについて、引き続き地域イベントへの積極的な参加、開催によりPR活動を実施して知名度向上を図る。
- ・ 山川町漁協は、マガキの生産量拡大のため種苗の安定的確保を図る必要があることから、引き続き種苗供給会社との協力体制を築くほか、種苗生産に必要な施設、機器の導入に向けて検討する。
- ・ 山川町漁協は、出荷先のニーズを把握し、ニーズに合った生産サイクルを検討するほか、製品サイズのマガキは引き続き自動選別機を活用してサイズ別出荷の厳格化による品質及び価格の向上を図る。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協は、定置網漁業の安定的操業を図るため、定置網においてクロマグロの入網が見られた際、定置網業者が混獲を回避するための取組を支援する。

3. 漁村活性化の取組

- ・ 山川町漁協は、地域水産物普及施設を整備し、観光客を中心に地域水産物の提供を開始し、海業の推進を図る。
- ・ 山川町漁協は、既存施設での生産物等の食事体験の受入れを継続するとともに、インバウンドも含めた集客力の向上が漁業所得向上に繋がるような漁協を核とした観光プログラムを実施し、アンケート等によりニーズにあったプログラムになるよう検討する。
- ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合は、継続して指宿市と連携してブルーツーリズムや観光プログラムのPR活動等に努め、ブルーツーリズムの体験メニューの充実を図り、関係する地域の活性化を図る。
- ・ 山川町漁協と指宿市は、地域の良好な環境を新たな観光資源を活かした

	<p>観光プログラムを前年度実施したアンケートをもとに、ニーズに合った観光プログラムを提供し、地域全体の交流人口の増大を目指す。</p> <p>(中核的担い手の育成に関する取組)</p> <p>4. 漁業者・加工業者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協・水産加工組合及び指宿市は、地域の中核的担い手である青年部や漁業士、漁村活動の中心となる女性部の魚食普及や販売促進等の活動について積極的に人的、経済的な支援のほか、指導・助言を行っていく。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、県は、国・県の経営体育成総合支援事業等による新規漁業就業者向けの短期・中期・長期の漁業研修に加え、技術習得のための先進地視察等について支援を行うとともに、漁具導入時の支援を行い、新規漁業就業者の着業促進を図る。 ・ 山川水産加工組合は、かつお節製造技術者養成補助金等を活用し、かつお節製造業者の担い手の確保・育成に努める。 ・ 当再生委員会は中核的漁業者の認定を進め、山川町漁協、指宿漁協は鹿児島県漁連の指導を受けながら中核的漁業者への水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業の導入を推進する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、競争力強化型機器等導入緊急対策事業の活用促進を図り、管内の漁業者に新たな機器等の整備を促すことで競争力の強化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）（国）【関連項目 1、2】 ・ 種子島周辺漁業対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 水産業競争力緊急対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロの混獲回避活動支援）（国）【関連項目 2】 ・ 漁港施設機能強化事業（国、県、市）【関連項目 1】 ・ つくり育て管理する漁業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 魚類増殖事業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国、県、市）【関連項目 2】 ・ 水産業強化支援事業（国）【関連項目 1、2】 ・ 海業推進事業（国）【関連項目 1、3】 ・ 経営体育成総合支援事業（国、県）【関連項目 4】 ・ かつお節製造技術者養成補助金（指宿市単独事業）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化金融支援事業（国）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）【関連項目 1】

<p>取組内容</p>	<p>(機能再編・地域活性化に関する取組)</p> <p>1. 魚価向上及び消費拡大の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指宿漁協及び山川町漁協は、前年度の検討結果をもとに活魚出荷や冷凍出荷など魚種の特長や販売先のニーズに合わせた出荷を実施し、流通体制の再編を図る。 ・ 山川町漁協は、前年度に引き続き、地域水産物の普及施設で加工品の販売をするとともに、来客者のニーズに合わせて加工品の開発に取り組む。 ・ 山川町漁協は、引き続き地域水産物普及施設において加工場で開発した加工品の販売のほか、漁獲物の販売、食事の提供を実施する。 ・ 山川町漁協は、漁獲物を地域水産物普及施設での販売及び食事、加工品の原料へ回すなど、出荷など市場以外の出荷により魚価の向上や付加価値向上を図る。 ・ 山川町漁協、指宿市漁協、山川水産加工組合は、漁獲物や加工品の安定した販売を目的として、地域イベントへの積極的な参加や開催を通して、鯉節も含めた地元水産物の魚食普及及び認知度向上を図り、販路拡大を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合、指宿市は、地産地消を図るため、即売会を市内の物産館等で積極的に実施する。 ・ 山川町漁協は、引き続き前年度に整備したフォークリフト等を活用し鯉節工場へ高鮮度の原料提供を行う。 ・ 山川水産加工組合は、鯉節製造時の排水処理施設の老朽化がみられていることから整備を開始する。 ・ 共同出荷については、鹿児島市中央卸売市場への試験出荷の結果を踏まえて高値で取引される魚を優先的に出荷する。また、加工場へ出荷を継続しつつ、地域水産物普及施設へ出荷を継続する。 <p>・ 流通機能向上のための施設整備については、海業の推進状況及び新たに整備した地域水産物普及施設の稼働状況を勘案し、必要な施設を整備をする。</p> <p>2. 資源管理、操業効率化等による体質強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協は、各地区で作成している資源管理協定のうち同一魚種・漁法については、意見交換の場を設け、広域的な資源管理に取り組み、資源回復を図り安定的な漁獲を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は稚魚の成育場となる藻場について、食害魚による磯焼け対策も含めた藻場調査、藻場造成事業を実施する。また、藻場造成事業等について、情報を共有し、効率的で効果の高い手法を検討して継続的に実施していくことにより資源の回復・維持を目指す。
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協は、従来から実施しているマダイ等の放流事業については、水産技術開発センターと連携し放流効果の向上に努めるとともに、より効果的な放流手法、放流場所として、藻場造成状況を踏まえて検討する。ヒラメについては、漁獲量の増減を把握し、減少が継続する際には高水温に対応可能かつ入手可能な魚種の放流を開始する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、省力化やコスト削減等を目的として、漁船漁業の操業の効率化や、養殖業の給餌作業の効率化、赤潮被害防止のためのモニタリング等について、スマート水産業の推進を図り、導入可能な機器を引き続き検討する。 ・ 山川町漁協はマガキ養殖について生産規模を拡大し、稚貝14万個を導入して中間育成もしくは出荷サイズまでの養殖を行いながら、養殖漁場のモニタリングを実施する。 ・ 生産したマガキについて、引き続き地域イベントへの積極的な参加、開催によりPR活動を実施して知名度向上を図る。 ・ 山川町漁協は、マガキの生産量拡大のため種苗の安定的確保を図る必要があることから、引き続き種苗供給会社との協力体制を築くほか、種苗生産による種苗確保の検討を開始する。 ・ 山川町漁協は、出荷先のニーズを把握し、ニーズに合った生産サイクルを検討するほか、製品サイズのマガキは引き続き自動選別機を活用してサイズ別出荷の厳格化による品質及び価格の向上を図る。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、定置網漁業の安定的操業を図るため、定置網においてクロマグロの入網が見られた際、定置網業者が混獲を回避するための取組を支援する。 <p>3. 漁村活性化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協は、海業のさらなる推進に向け、前年度整備した地域水産物普及施設により観光客を呼び込むほか、駐車場等を整備し、観光客の受け入れを推進する。 ・ 山川町漁協は、既存施設での生産物等の食事体験の受け入れを継続するとともに、インバウンドも含めた集客力の向上が漁業所得向上に繋がるような漁協を核とした観光プログラムを継続して提供する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合は、継続して指宿市と連携してブルーツーリズムや観光プログラムのPR活動等に努め、ブルーツーリズムの体験メニューの充実を図り、関係する地域の活性化を図る。 ・ 山川町漁協と指宿市は、地域の良い環境を新たな観光資源を活かした観光プログラムを前年度実施したアンケートをもとに、ニーズに合った観光プログラムを提供し、地域全体の交流人口の増大を目指す。
--	---

	<p>(中核的担い手の育成に関する取組)</p> <p>4. 漁業者・加工業者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協・水産加工組合及び指宿市は、地域の中核的担い手である青年部や漁業士、漁村活動の中心となる女性部の魚食普及や販売促進等の活動について積極的に人的・経済的な支援のほか、指導・助言を行っていく。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、県は、国・県の経営体育成総合支援事業等による新規漁業就業者向けの短期・中期・長期の漁業研修に加え、技術習得のための先進地視察等について支援を行うとともに、漁具導入時の支援を行い、新規漁業就業者の着業促進を図る。 ・ 山川水産加工組合は、かつお節製造技術者養成補助金等を活用し、かつお節製造業者の担い手の確保・育成に努める。 ・ 当再生委員会は中核的漁業者の認定を進め、山川町漁協、指宿漁協は鹿児島県漁連の指導を受けながら中核的漁業者への水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業の導入を推進する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、競争力強化型機器等導入緊急対策事業の活用促進を図り、管内の漁業者に新たな機器等の整備を促すことで競争力の強化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）（国）【関連項目 1、2】 ・ 種子島周辺漁業対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 水産業競争力緊急対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロの混獲回避活動支援）（国）【関連項目 2】 ・ 漁港施設機能強化事業（国、県、市）【関連項目 1】 ・ つくり育て管理する漁業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 魚類増殖事業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国、県、市）【関連項目 2】 ・ 水産業強化支援事業（国）【関連項目 1、2】 ・ 海業推進事業（国）【関連項目 1、3】 ・ 経営体育成総合支援事業（国、県）【関連項目 4】 ・ かつお節製造技術者養成補助金（指宿市単独事業）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化金融支援事業（国）【関連項目 4】 ・ かごんま漁師育成推進事業（県）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）【関連項目 1】

<p>取組内容</p>	<p>(機能再編・地域活性化に関する取組)</p> <p>1. 魚価向上及び消費拡大の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指宿漁協及び山川町漁協は、前年度の検討結果をもとに活魚出荷や冷凍出荷など魚種の特長や販売先のニーズに合わせた出荷を実施し、流通体制の再編を図る。 ・ 山川町漁協は、前年度に引き続き、地域水産物の普及施設で加工品の販売をするとともに、来訪者のニーズに合わせた加工品の開発に取り組む。 ・ 山川町漁協は、引き続き地域水産物普及施設において加工場で開発した加工品の販売のほか、漁獲物の販売、食事の提供を実施する。 ・ 山川町漁協は、漁獲物を地域水産物普及施設での販売及び食事、加工品の原料として活用するなど、市場以外の出荷を増やすことにより魚価の向上や付加価値向上を図る。 ・ 山川町漁協、指宿市漁協、山川水産加工組合は、漁獲物や加工品の安定した販売を目的として、地域イベントへの積極的な参加や開催を通して、鰹節も含めた地元水産物の魚食普及及び認知度向上を図り、販路拡大を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合、指宿市は、地産地消を図るため、即売会を市内の物産館やイベント等で積極的に実施する。 ・ 山川町漁協は、山川地区のかつお節工場へ高鮮度の原料を提供するため、フォークリフトを整備する。 ・ 山川水産加工組合は、新たに整備した排水処理施設で鰹節製造時の排水を処理する。 ・ 共同出荷については、鹿児島市中央卸売市場への試験出荷の結果を踏まえて高値で取引される魚を優先的に出荷する。また、加工場へ出荷を継続しつつ、地域水産物普及施設へ出荷を継続する。 ・ 流通機能向上のための施設整備については、海業の推進状況及び新たに整備した地域水産物普及施設の稼働状況を勘案し、必要な施設整備をする。 <p>2. 資源管理、操業効率化等による体質強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協は、各地区で作成している資源管理協定のうち同一魚種・漁法については、意見交換の場を設け、広域的な資源管理に取り組み、資源回復を図り安定的な漁獲を目指す。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は稚魚の成育場となる藻場について、食害魚による磯焼け対策も含めた藻場調査、藻場造成事業を実施する。また、藻場造成事業等について、情報を共有し、効率的で効果の高い手法を検討して継続的に実施していくことにより資源の回復・維持を目指す。
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協は、従来から実施しているマダイ等の放流事業については、水産技術開発センターと連携し放流効果の向上に努めるとともに、藻場造成状況を踏まえてより効果的な放流手法、放流場所を検討する。ヒラメについては、漁獲量の増減を把握し、減少が継続する際には高水温に対応可能かつ入手可能な魚種の放流を継続する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、省力化やコスト削減等を目的として、漁船漁業の操業の効率化や、養殖業の給餌作業の効率化、赤潮被害防止のためのモニタリング等について、スマート水産業の推進を図り、導入可能な機器を引き続き検討する。 ・ 山川町漁協はマガキ養殖について生産規模を拡大し、稚貝15万個を導入して中間育成もしくは出荷サイズまでの養殖を行いながら、養殖漁場のモニタリングを実施する。 ・ 生産したマガキについて、引き続き地域イベントへの積極的な参加、開催によりPR活動を実施して知名度向上を図る。 ・ 山川町漁協は、マガキの生産量拡大のため種苗の安定的確保を図る必要があることから、引き続き種苗供給会社との協力体制を築くほか、種苗生産による種苗確保を目指す。 ・ 山川町漁協は、出荷先のニーズを把握し、ニーズに合った生産サイクルを検討するほか、製品サイズのマガキは引き続き自動選別機を活用してサイズ別出荷の厳格化による品質及び価格の向上を図る。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、定置網漁業の安定的操業を図るため、定置網においてクロマグロの入網が見られた際、定置網業者が混獲を回避するための取組を支援する。 <p>3. 漁村活性化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協は、海業のさらなる推進の向け、地域水産物の普及施設により観光客を呼び込むほか、駐車場等により、引き続き観光客の受け入れを推進する。 ・ 山川町漁協は、既存施設での生産物等の食事体験の受け入れを継続するとともに、インバウンドも含めた集客力の向上が漁業所得向上に繋がるような漁協を核とした観光プログラムを継続して提供する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、山川水産加工組合は、継続して指宿市と連携してブルーツーリズムや観光プログラムのPR活動等に努め、ブルーツーリズムの体験メニューの充実を図り、関係する地域の活性化を図る。 ・ 山川町漁協と指宿市は、地域の良い環境を新たな観光資源を活かした観光プログラムを前年度実施したアンケートをもとに、ニーズに合った観光プログラムを提供し、地域全体の交流人口の増大を目指す。
--	---

	<p>(中核的担い手の育成に関する取組)</p> <p>4. 漁業者・加工業者の確保・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山川町漁協、指宿漁協・水産加工組合及び指宿市は、地域の中核的担い手である青年部や漁業士、漁村活動の中心となる女性部の魚食普及や販売促進等の活動について積極的に人的、経済的な支援のほか、指導・助言を行っていく。 ・ 山川町漁協、指宿漁協、県は、国・県の経営体育成総合支援事業等による新規漁業就業者向けの短期・中期・長期の漁業研修に加え技術習得のための先進地研修等について支援を行うとともに、漁具導入時の支援を行い、新規漁業就業者の着業促進を図る。 ・ 山川水産加工組合は、かつお節製造技術者養成補助金等を活用し、かつお節製造業者の担い手の確保・育成に努める。 ・ 当再生委員会は中核的漁業者の認定を進め、山川町漁協、指宿漁協は鹿児島県漁連の指導を受けながら中核的漁業者への水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業の導入を推進する。 ・ 山川町漁協、指宿漁協は、競争力強化型機器等導入緊急対策事業の活用促進を図り、管内の漁業者に新たな機器等の整備を促すことで競争力の強化を図る。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）（国）【関連項目 1、2】 ・ 種子島周辺漁業対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 水産業競争力緊急対策事業（国）【関連項目 1】 ・ 広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロの混獲回避活動支援）（国）【関連項目 2】 ・ 漁港施設機能強化事業（国、県、市）【関連項目 1】 ・ つくり育て管理する漁業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 魚類増殖事業補助金（指宿市単独事業）【関連項目 2】 ・ 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国、県、市）【関連項目 2】 ・ 水産業強化支援事業（国）【関連項目 1、2】 ・ 海業推進事業（国）【関連項目 1、3】 ・ 経営体育成総合支援事業（国、県）【関連項目 4】 ・ かつお節製造技術者養成補助金（指宿市単独事業）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化漁船導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化金融支援事業（国）【関連項目 4】 ・ かごんま漁師育成推進事業（県）【関連項目 4】 ・ 水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）【関連項目 1】

(5) 関係機関との連携

水産物の鮮度保持技術講習については、鹿児島大学水産学部、水産技術開発センターの協力を得て実施する。

流通の ICT 化は国、県の各種補助事業等を活用しながら、他市場等と連携しながら取り組んで行く。

資源管理、藻場造成事業等については、水産技術開発センター等の指導を受けて計画的に実施して行く。

中核的担い手の育成に係る各種制度の活用については、県庁水産振興課とも連携して情報収集しながら取り組んでいく。

(6) 他産業との連携

指宿漁協本所における流通チャンネルを増加させる取組については、指宿商工会議所と連携しながら地元飲食店・ホテルへの勧誘を実施していく。

地魚や水産加工品の PR、ブルーツーリズムの取組紹介等については、指宿市観光課を通じて県観光連盟とも連携して広報・PRを実施していく。

水産物の地産地消活動については道の駅「活お海道」・「彩花菜館」とも連携して実施していく。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

本プランにおいては、出荷方法の検討などの流通体制の再編、加工品の開発や地域水産物普及施設の整備による魚価と付加価値の向上、消費拡大の取組強化、資源管理、藻場造成による資源の維持・回復を図ることとしている。

また、地域の中核的担い手を支援しながら新規漁業就業者向けの漁業権集・技術習得支援を実施し、新規漁業就業者を確保・育成して当地区の漁業を持続・発展させることとしている。

このため、成果目標としては前期プランに引き続き、沿岸漁獲物の平均単価の向上、新規漁業就業者数の維持を目標値として設定する。

(2) 成果目標

① 機能再編・地域活性化の取組に係る成果目標

指宿漁協市場での沿岸漁獲物の平均単価の向上 (10%向上)	基準年	令和6年度：740 円/kg
	目標年	令和12年度：814 円/kg

② 中核的担い手の育成の取組に係る成果目標

新規漁業就業者数の維持 (累計)	基準年	令和2～6年度：11 人
	目標年	令和8～12年度：11 人

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

① 沿岸漁獲物の水揚金額の向上

指宿漁協と山川町漁協の沿岸漁獲物は、第1期プランにより、指宿漁協本所に集約化された。今後、魚種の特長や販売先のニーズに合わせた出荷方法の検討などの流通体制の再編、加工品の開発や地域水産物普及施設の整備による魚価と付加価値の向上、消費拡大の取組強化を図ることによって沿岸漁獲物の平均単価を令和12年度までに令和6年度比で10%向上させる。

表1 指宿漁協市場への水揚量と水揚金額

	令和6年度実績	令和12年度目標
水揚量(kg)	4,392	4,392
水揚金額(円)	3,251,673	3,576,840
平均単価(円/kg)	740	814

② 新規漁業就業者数の維持

指宿漁協と山川町漁協においては、漁業就業者数の減少がみられているが、地域の水産業を維持するためには、新規漁業就業者の確保・育成が必要となることから、過去5か年（令和2～6年度）の新規就業者数11人を維持する。

表2 新規漁業就業者数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	計(目標値)
指宿漁協	0人	2人	4人	1人	2人	9人
山川町漁協	1人	0人	0人	1人	0人	2人
計	1人	2人	4人	2人	2人	11人

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）（国）	流通体制の機能再編や資源管理、藻場造成、ブルーツーリズム活動の推進を図るための実証調査を行う。
種子島周辺漁業対策事業（国） 水産業競争力緊急対策事業（国）	各種共同利用施設、鮮度保持施設等の整備に取り組む。
広域浜プラン緊急対策事業（クロマグロの混獲回避活動支援）（国）	定置網漁業の安定的操業を図るため、定置網におけるクロマグロの入網が確認された際、混獲を回避するための取組を行う。
漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業（国、県、市）	種苗放流の集約化において、放流場所の整備（藻場造成活動等）を行う。
つくり育て管理する漁業補助金（指宿市単独事業）	マダイ・ヒラメの種苗放流を行い、漁業資源の維持・回復を図る。
魚類増殖事業補助金（指宿市単独事業）	マダイ・ヒラメの種苗放流を行い、漁業資源の維持・回復を図る。
経営体育成総合支援事業（国、県）	新規漁業就業者への技術習得や着業のための支援を行い、担い手の育成を図る。
かつお節製造技術者養成補助金（指宿市単独事業）	水産加工業者の後継者育成の支援を行い、担い手の育成を図る。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	中核的漁業者に漁船をリースし、生産性と収益性を改善させて競争力の強化を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	漁船機関など競争力の強化に資する機器整備を支援する。

水産業競争力強化金融支援事業（国）	中核的漁業者の機器整備の資金調達を支援する。
漁港施設機能強化事業（国、県、市）	漁港機能を強化し、漁村の活性化、漁労作業の省力化を図る。
水産業競争力強化緊急施設整備事業（国）	競争力強化のために必要となる施設の整備、産地市場の統廃合等を推進するために必要な施設の整備
水産業強化支援事業（国）	共同利用施設の整備、当プラン策定地域における水産資源の管理・維持増大
海業推進事業（国）	海業の推進に要する施設の整備
かごんま漁師育成推進事業（県）	新規漁業就業者の確保・育成及び漁業への定着率向上のための支援を行う。